



栗駒山麓ジオパーク

自然災害との共生と豊穡の大地の物語

栗駒山麓ジオパーク

だより 114

問 ジオパーク推進室
☎(24)8836
ファクス(45)5936

ジオパーク ジオパーク ジオパーク

市ウェブサイト Facebook LINE

栗駒山麓ジオパーク特産商品「栗駒山麓のめぐみ」

第5回募集で新たに認定した「栗駒山麓のめぐみ」から、市内の老舗菓子店である志んこやが、高校生と共同開発した商品「穂なんしえ」を紹介します。

●地元で愛される「志んこや」

若柳地区で長く親しまれてきた「志んこや」は、創業から100年以上続く老舗の菓子店です。地元の素材を大切にしながら、昔ながらの味わいと新しい発想を組み合わせた菓子づくりが魅力です。お店一番の人気商品である、宮城県産ササニシキを100パーセント使用した「しんこもち」をはじめ、素朴な和菓子から、季節の恵みを生かした創作菓子まで、幅広く手がけています。

また、たくさんの商品が並び店内には民芸品も飾られ、その優しい雰囲気も魅力の1つです。

●老舗と高校生のコラボ

今回「栗駒山麓のめぐみ」に認定された「穂なんしえ」は、栗駒山麓の豊かな恵みを生かした、やさしい甘さとしっとりした口

当たりが魅力の焼菓子です。

この商品の最大の特徴は、市内の迫桜高等学校の生徒と共同開発によって誕生した商品であることです。高校生の若い感性と、老舗の志んこやが長年培ってきた菓子づくりの技が出会い、何度も試作を重ねながら「栗原らしさをお菓子で表現する」という共通の思いを形にしました。栗原産のひとめぼれを使用した米粉の生地は、甘さ控えめでありながらも、素材の風味を大切にし、誰にとっても食べやすく優しい味わいに仕上げたことで、世代を問わず親しまれる一品です。

志んこやでは、この穂なんしえの他、看板商品の「しんこもち」も「栗駒山麓のめぐみ」に認定されています。

栗駒山から流れる三本の迫川

がもたらした豊かな土壌が、この2つの商品に深く関わる食材「米」を生み出し、栗原の大地と結びついた商品と言えます。各商品は店頭販売の他、イベントなどでも購入できます。



▲新規認定商品の「穂なんしえ」



▲認定者「志んこや」阿部勲也さん

地球に優しくアウトドアを楽しむための企画展を開催

栗駒山麓ジオパークビジターセンターでは、環境負荷を最小にして、アウトドアを楽しむ環境倫理プログラム「LEAVE NO TRACE」を紹介する企画展を開催します。

これからの季節にお薦めな、世界谷地の散策や栗駒山登山を楽しむ際に、大切な考え方を知る機会になります。ぜひ、お越しください。

- 日 時 5月2日(土)～8月31日(月)
午前9時～午後5時
※毎週火曜日は休館
- 入場料 無料



▲リーフノートレイスの普及活動を昨年実施

くりはら KOKO ZUKAN 高校図鑑

地域と共に成長する

築館高等学校

現在の築館高等学校は再編・統合により誕生し、今年で22年目を迎えます。

生徒たちは「3年後、なりたい自分がそこにいる」をキャッチフレーズに、日々の学習や部活動、ボランティア活動、探究活動などに積極的に挑戦しています。総合的な探究の時間では「くりはらプロジェクト」として、地域の課題解決に向けた提言をまとめるため、各自のテーマに沿った地域でのフィールドワークや個人探究を展開しています。

一迫商業キャンパス情報ビジネス科

令和7年度に築館高等学校に設けられた一迫商業キャンパス情報ビジネス科では、地域の事業所と連携して学ぶ「栗原版デュアルシステム」を実施しています。これは、地域の産業界と連携し、職業人材の育成を目的としています。生徒たちは、市内の企業で、実習を通して実践力を高めます。また、1年間の取り組み成果は、外部の人たちを招いた報告会で発表しています。



▲探究活動「フィールドワーク」



▲地域と連携した活動の様子

みんなで としょかん

市立図書館 ☎(21)1403

【開館時間】

- 火～金曜日:午前10時～午後6時
- 土・日曜日:午前9時～午後5時

【休館日】

- 毎週月曜日、祝日(月曜日が祝日の場合、その翌日も休館)



お知らせ

●本のリサイクルフェア

図書館で貸し出しを終了した実用書や小説、児童書を無料で譲ります。気に入った本は、自由に持ち帰りください。

日時 5月30日(土)、31日(日)
午前9時～午後4時

場所 市立図書館

- ※混雑状況により入場制限を行うことがあります。
- ※持ち帰り用の袋は各自で用意してください。

情報交換プラザ展示

図書館マナーアップ運動

期間 5月31日(日)まで

※個人・グループ活動の発表をしてみませんか。無料で利用できます。

今月のおすすめ本

農家が教える草を生やす農業

農文協 編 農山漁村文化協会

土を裸にしないことで、いろんな微生物が増えて土が豊かになる「草を生やす農業」。その技術であるリビングマルチ・カバークロープ・草生栽培について解説する。



かぶと

藤川 智子 作 講談社

「悪いことがさるように」という願いを込めてつくられたのは、どんなかぶと? 「なんども生まれ変わるように」とつくられたのは? いろいろな思いを込められたかぶとを紹介します。折り紙のかぶとの折り方も掲載。



※ブックる号、おはなし会の日程は、市内の情報カレンダーをご覧ください。